

平成30年9月21日

瀬戸市長 伊藤保徳 様

提 言 書

～平成29年度決算審査を踏まえて～

瀬戸市議会では、予算決算委員会において、平成29年度の一般会計、特別会計及び企業会計の全7会計の決算審査を行い、その中で新年度における適切な予算編成や事務事業のあり方の見直しなど議論を重ねてまいりました。

その結果、別紙のとおり取りまとめましたので、ここに提言いたします。

瀬戸市議会

【提言事項】

1 一般会計に関すること

(1) 学習支援について

貧困の連鎖を防止することを目的とした学習支援は、支援を必要とされる全ての子どもたちが確実に支援を受けられるよう十分な仕組み作りを行い拡充するよう提言する。

(2) 小中一貫校整備事業について

小中一貫校整備事業は、先進的な教育を実施することを目的とするものである。しかし、その教育内容は未だ示されておらず、児童、生徒の保護者の中には不安を抱かれている方々も多くおられる。一刻も早く 9 カ年の教育プログラムを示すよう提言する。

(3) 文化財保護普及について

第 6 次総合計画の施策体系の中で、地域資源を活かした「せとまちブランドイング」の加速と観光振興の方針が示されているが、旧山繁商店の保存活用と周辺の面的整備は「せとまちブランドイング」の核とすべき重点事業である。また文化財の保護に努めることは市の責務であり、平成 31 年度以降の事業着手に向け適切な予算措置を求める。

2 介護保険事業特別会計に関すること

(1) 地域包括ケアの充実と在宅介護支援について

高齢者が、一人ひとり違う条件のもとで、その人らしい生活が実現するよう尊重し支援することが求められている。「夜間対応型訪問介護」や「看護小規模多機能型居宅介護」など地域包括ケアに必要な在宅サービスの開始及び、在宅介護を応援する「家族介護用品支援事業」の拡充を求める。

以上